

シリーズ

「私の森語り」
もりかた森林・林業との関わりの中で、
様々な課題に挑戦されている方
の取組を紹介します。

「こどもたちとみどりをつなぐ

橋渡し役になる」

2024ミス日本
みどりの大使
安藤 きらり

■自己紹介

ミス日本みどりの大使は、緑の募金の呼びかけや、森林や木々への親しみを広げる役割を担っています。私が全国で活動する中で、大切にしていること、気がついたことを紹介したいと思います。

まず私は、こどもたちとみどりの関わりを大切にしています。私は学生時代に、幼稚園や学童、放課後デイサービス、チャスクールなどで、こどもたちに接するアルバイトをしてきました。その際、こどもたちのインターネット依存による、自然体験の減少を問題視するようになりました。文部科学省などの調査機関に

よる報告では、自然体験の減少の影響として、こどもたちの体力や運動神経、問題解決能力、主体性の低下が指摘されています。

実際に私はそれを保育園などの現場で感じていました。外遊びを好むこどもが少ないこと、液晶画面上で学びを完結させてしまうこどもが本当に多くなっています。私は、多くのこどもたちに、自然と触れ合っ、より多くの学びを得てほしいという強い思いがあります。

■活動内容

みどりの大使の活動を通じて、こどもたちと関わることでできた経験を二つご紹介します。

まずは、山形で行われた木育体験プロジェクトです。鶴岡市立由良保育園、ちわら菜の花こども園にて、こどもたちに、木や森を感じ、身体運動を通じた教育機会が作られました。私は絵本「森はすごいなあ」の読み聞かせをしたのち、ポンポンを用いたオリジナルチャ体験を幼児たちといっしょに行いました。絵本の読

み聞かせで、木や森林の大切さを伝え、その後のオリジナルチャ体験に「葉っぱのポーズ」を取り入れて、ダンスをしました。「葉っぱのポーズ、覚えてよ」と終わった後に伝えてくれたこどももいました。こどもたちには、森林や木々に対する思いが芽生えるきっかけが必要です。その切り口の一つとして、私が学生時代打ち込んだチャを活かしたのは発見でした。きっかけは人それぞれだと思うので、今後も工夫をしながらこどもたちにアプローチしていきたいです。

二つ目は、NEAリーダー（自然体験活動指導者）の資格を取得したことです。森林などの自然豊かな場所、安全に配慮した実体験を提供することで、自然の素晴らしさを伝えることができる資格です。資格取得のための二泊三日の講習は、山梨県清里で行われました。全国から集まった参加者は、年齢も職業もみんなバラバラですが、自然体験がとても大事であるという共通の想いがありました。交流の中でさまざまなキャリアの視点でのお話を伺えました。元体育教員の方からは、スポーツを通じた自然環境教育の大切さを

教わり、大学で自然教育を学んでいる学生からは、自然が学びに影響することや、理想の環境について意見交換をしました。私自身の切り口は「こども」でしたし、みなさんそれぞれの切り口があります。それが私の視点を大きく広げてくれた経験でした。

今年八月の山の日には、このNEAリーダーの資格を活かし、ガイドウォークを行いました。「森の映画館」と題して、自然の中にある素敵な光景を参加者の皆様と一緒に楽しみました。

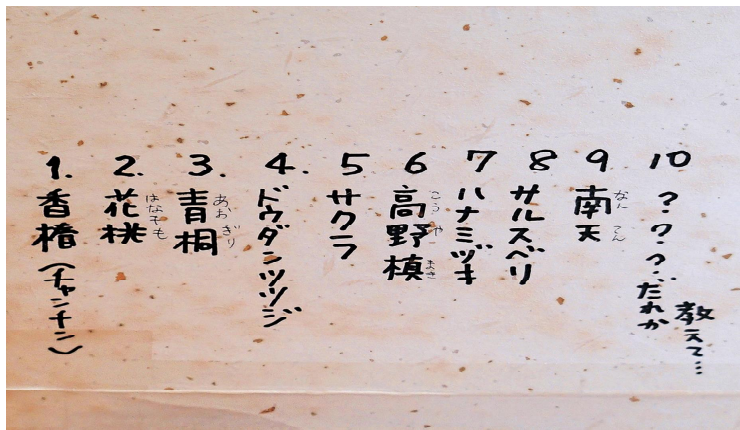
■メッセージ

これからも、得た知見や資格を活かして、たくさんの人々に森林や木々の魅力をお伝えしていきたいです。そして、多くのこどもたちが森林でのびのびと育つ機会づくりをしてみたいと思います。

■連絡先

一般社団法人ミス日本協会
〒一六〇一〇〇二三
東京都新宿区西新宿二一二一
京王プラザホテル南館九階





10番目の「???だれか教えて…」に答えてくれた救世主はいたのでしょうか

何種類の木が

わかったでしょう？

四ページで問いかけた十種類の木の名前は、木が納められた箱の後ろに写真の左側から順に記載されています。

最後(一番右)の木は、わからなかったようです。謎のままの木があるものの、いろんな木を集めて種類を調べた、その努力にも拍手です。

「ウッド・チェンジ

木づかいが 森をよくする

暮らしを変える」

十月は「木材利用推進月間」です

日本の国土の約三分の二を占める森林は、そこから生まれる木材を建築物等に活用することで、資源の循環、地球温暖化防止、国土保全といった多面的機能の発揮や、林業・木材産業の振興による地域経済の活性化等に繋がること期待されます。

ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れるなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指しています。身近なところに木から作られるものを取り入れてみてはいかがでしょうか。

木材利用推進月間についてはこちらから



WOOD CHANGE



NEALリーダー(自然体験活動指導者)としてガイドウォーク



鶴岡市でのこどもたちとのポンポン体操

みどりの大使の活動を紹介します

編集長だより

(中部の森林へのご意見・ご要望等の投稿は、migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。)

今月はみどりの大使の安藤さらりさんに、「私の森語り」へ原稿をお寄せいただきました。特技に「チアダンス」のほか、一風変わった「ニワトリの爪を整えること」を挙げられるユニークな一面も。

安藤さんの原稿にありましたが、こどもたちに森林や木々に対する思いが芽生えるきっかけをつくるのは大人の役目です。こどもたちが「情報」として知るだけでなく、自ら関わり、体験することを通じて自然や森林の大切さなどを理解する機会を提供するのはとても重要なことだと思います。

「はたらくくるま3」の歌詞には「やまみち らくらく しんりんパトロールカー」と紹介されています。森って楽しそう、森でのお仕事ってカッコいいかも、と感じてくれるこどもが増えるといいな～。



「みどりの大使」「ミス着物」2つの称号！

みどりの大使の安藤さん、実は、もう一つの称号をお持ちです！